

みんなの「力」で夢実現

ちから

1年間に行う施策や市の進むべき指針を示すのが市政執行方針です。平成21年度、市はどのような事業に取り組もうとしているか、予算とともにお知らせします。

市政運営の基本姿勢

1 市民力を生かした都市経営を進めます

【協働型の取組の充実】

「みんなで進める千歳のまちづくり条例」の施行3年目となる平成21年度は、『市民協働充実年』と位置づけ、定着してきた協働事業を通じて、市民の公益活動の促進に向けた支援を行い、協働型の取組を充実します。

【企業立地の促進と雇用の拡大】

千歳の特性を生かした産業集積を図るため、「(仮称)千歳市地域産業活性化基本計画」を策定します。

高度な技術力を持つ製造業を中心とした「ものづくり産業集積事業」をはじめ、工業用地のリースや空き工場の活用を図る「初期投資軽減事業」、千歳の優れた特性を全国の企業にアピールする「立地環境PR活動推進

事業」を行い、企業立地の促進と雇用の拡大を図ります。

2 安全・安心な都市経営を進めます

【自衛隊と共存共栄するまちづくり】

千歳にとって自衛隊削減問題は、安全・安心のまちづくりに極めて大きな影響があります。

「千歳市における自衛隊の体制維持を求める期成会」とともに、現体制の維持に向けて積極的な活動を展開します。

また、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」の活動を通して、道内の全自治体が一丸となって、自衛隊と共存共栄するまちづくりを目指します。

【再編交付金による地域振興】

在日米軍再編に係る訓練の実施では、今後も協定の順守を求め、騒音の状況などを確認していきます。

また、再編交付金を活用した地域振興策を着実に進めます。



安心と活力に満ちたまちづくりに 全力で取り組みます

本年は、私にとりまして2期目の任期の折り返しを迎えます。私は今日まで、市民が幸せを実感できるまちの実現に向けて努力してまいりました。この1年は、自衛隊の削減問題や財政健全化の取組、さらには100年に1度とも言われる厳しい経済情勢など、さまざまな課題に直面した年であり、市長としての使命とその責任の大きさを痛感しました。

そうした状況の中で、市政を運営することができましたことは、市民の皆さんのご理解とご協力のたまものと心から感謝を申し上げます。

今後、流動する内外の諸情勢に柔軟に対応して、長期的な展望に立ち、安心と活力に満ちたまちづくりに全力を挙げて取り組んでいきますので、一層のご支援をお願いします。